

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 4 - 2

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名							国民年金システム改修委託事業							
評価者		担当課名		住民生活課		担当係名		戸籍住民係						
		管理職		職名		課長		作成者		職名		係長		
				氏名		渡邊孝司				氏名		大水寛仁		
事業の概要		国民年金システムの改修を行い、所得情報の入力作業をシステム処理化し、事務処理時間短縮及び正確性の向上を図る。 システム改修委託及びテスト(平成21年度) データ連携本格稼働(平成22年度)						全体計画		(平成 21 年度 ~ 22 年度)				
								事業費		国・道支出金		105 千円		
										地方債		千円		
										その他		千円		
										一般財源		千円		
事業費計		105 千円												
実施方法		直営		民間委託		その他 ()								
第 5 期 総合計画 (前期)				登載事業		非登載事業		優先度		B				
事業の位置付け		政策目標		2		ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～								
		基本施策		11		社会保障制度の充実								
		単位施策		2		年金相談対応等の充実								
		事務事業の種類				自治事務		法定受託事務						
		その他計画・根拠等		国民年金法										
事業費		実施年度		20年度(実績)		21年度(実績)		22年度(見込)		23年度(計画)		24年度(計画)		
		国・道支出金		千円		105 千円		千円		千円		千円		
		地方債		千円		千円		千円		千円		千円		
		その他財源		千円		千円		千円		千円		千円		
		雄武町負担額(一般財源)		千円		千円		千円		千円		千円		
		合計		千円		105 千円		千円		千円		千円		

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	・町民(国民年金被保険者) ・北見年金事務所への所得情報提供	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	年間約500件の年金所得情報の入力(手作業)を効率的かつ正確に行う必要があった。	事務作業の短縮(約1週間 0.5日)	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	所得情報の入力は、手作業で約1週間要していたものを、システム連携により瞬時に行えるように改善する。なお、平成21年度は委託改修後、運用試験に時間を費やしたため、22年度から正式稼働となるものである。	指標(指標計算式/解説)	
		目標年度	平成21年度
		目標値	100 %
		実績値	60 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	職員の事務作業量短縮により、国民年金のみならず、各種窓口事務において町民等に対しゆとりある対応を行うことしたい。	目標年度	平成22年度
		目標値	0.5 日
		実績値	日
		達成度	0 %
内容(どのような手段で何を行ったか)			
システム改修委託及びテスト	国民年金システムについて、業者委託によりプログラム改修を行い、運用テストを行った。		

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	数日間に及んでいた事務作業を比較的安価で改善(時間短縮)でき、かつ国民年金事務費交付金で全額助成の対象となるため、必要であったと判断する。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	プログラム改修後、運用試験に時間を費やしたため、当該年からの本稼働に至らなかった。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	町総合行政システムにおける国民年金メニューのカスタマイズ(部分改良)であり、実質負担ゼロで改修することができた。 国民年金事務費交付金
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	国民年金被保険者情報に関する改修であり、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A~D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
システム改修及び運用試験は終了したものの、本稼働による効率化が1年先延ばしになった。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続 / 現状維持			
システム本稼働は平成22年度開始となることから、現状を維持した上で、1年間継続し、本来の目的である事務作業の短縮効果について検証したい。			
* 展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止			

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--